

「さんがうら山ウォーク」 村の復興の後押しに

11月22日(日)『たまにはゆつくりと三ヶ浦の集落をあるいてみませんか?』と「さんがうら山ウォーク」が田舎の体験交流館さんがうらが主催。球磨村公民館第5分館の運営委員で開催された。

実行委員長の榎木啓介さんが「コロナ禍、7月の豪雨災害の復旧復興の中、さんがうらも何か後押しできないかと企画しました。鶉口観音はじめたくさんの文化財を巡りながら、魅力を発見し楽しんでください。村内外に発信して村づくりと活性化につながると思いますが」とあいさつ。

里山ウォークには地域の人たちや球磨村文化協会サークル「山野草の会」会員を含む33人が参加した。ショートコース(4.5km)とロングコース(11.2km)を、マイクロバスで球磨村唯一の相良三十三観音・鶉口観音まで移動してスタートした。



山間を散策する参加者

さんがうらにゴールした参加者は、実行委員スタッフで準備された地産の昼食に舌鼓、疲れを癒し、心地良い汗で三ヶ浦の里山ウォークを満喫した。参加した橋詰兵士郎さんは「被災後は、気がめいって精神的にも疲れていた。気放しに参加して、みんなの元気な姿を見て安心した」と散策を楽しんだ。



美味しい昼食で疲れを癒す

銀色に輝くトレーラーハウスで再スタート ドライブイン味里 (ajisato★)

渡馬場地区の国道219線沿いで、絶景のスポットと村内外から多くの人で人気を集めていたドライブイン味里。7月豪雨で跡形もなく流された。

11月28日、国道219線沿いの人吉市下原田町に銀色に輝くトレーラーハウス(全長12m)が、アメリカから輸送されてきた。

瀬河克俊さん(38)、のぞみさん(36)夫婦は「テイクアウトをしながら来年の春までには完全オープンできれば」と再開に向けて、着々と準備を進めている。



誰でも気軽に立ち寄れる店を目指して!

球磨弁! パート29

わかるかな?

- あぎやー|| あんなに
- こぎやー|| こんなに
- そぎやー|| そんなに
- なんでうちや|| なんでも
- なんさま|| とにかく
- じゃなか|| そうではない
- めしんしゃー|| ご飯のおかず



思いのままに...

球磨村も少しずつ復興に向かう中、球磨村老人会も動き出した。今年度になって初の活動になった渡小学校での清掃ボランティア活動に参加した。汗をかき、何だか清々しい気持ちになった。コロナ禍、豪雨災害で何もかもできなくなると悶々としている人は多い。村内を回っていると「人が恋しくなった」「早く帰りたい」「もう帰りたくない」「村の情報が伝わって来ない」「来年の梅雨の時期が怖い」などと住民の心境はさまざま。仮住まいしている錦町で、散歩中にグランドゴルフを楽しんでいる人たちを見るとつい羨ましく思った。私はまだいい方だと思う。いつかは帰る家があるから。全く先が見えない住民も多々いる。心中を察すると、とても胸が痛む。(宮)

ただいまだけ
あなたがそこに
ただいまだけ
その場の空気が
あがるくなる
あなたがそこに
ただいまだけ
みんなのこころが
やすらぐ
そんな
あなたがわたしも
なりたいたい
みつを

